

東北運輸局 入札監視委員会 審議概要

開催日及び場所		平成29年3月8日(水)	東北運輸局 4階会議室
委員		委員長 長谷部 弘 出席 委員 高橋 真 出席 委員 瀬口 孝 出席	東北大学大学院教授 尚綱学院大学 教授 弁護士
審議対象期間		平成27年10月1日	～ 平成28年9月30日
抽出案件			(備考)
工 事	総契約件数	総件数	4 件
	①一般競争契約(政府調達に関する協定適用対象工事)		0 件
	②一般競争契約(①以外)		4 件
	③ 工事希望型競争入札方式		0 件
	④ ③以外の指名競争入札方式		0 件
	⑤ 随意契約方式		0 件
建設コンサルタント業務等	総契約件数	総件数	0 件
	① 一般競争入札方式		0 件
	② 公募型競争入札方式		0 件
	③ 簡易公募型競争入札方式		0 件
	④ ②及び③以外の指名競争入札方式		0 件
	⑤ 公募型プロポーザル方式		0 件
	⑥ 簡易公募型プロポーザル方式		0 件
	⑦ 標準プロポーザル方式		0 件
	⑧ 参加者の有無を確認する公募手続を行った契約		0 件
	ア プロポーザル方式へ移行したもの		0 件
	イ ア以外のもの		0 件
⑨ 随意契約方式		0 件	

物品の製造、 物品の買い入 れ、物件の借り 入れ及び役務 の提供等	総契約件数	総件数 102 件	
	① 一般競争入札方式	35 件	
	②指名競争入札方式	0 件	
	③企画競争方式	63 件	
	④参加者の有無を確認する公募 手続きを行った契約	2 件	
	ア 企画競争方式へ移行したも の	0 件	
	イ ア以外のもの	2 件	
	⑤随意契約方式	2 件	
委員からの意 見・質問、それ に対する回答	(意見・質問は逐一できるだけ詳細に記述すること) 別紙のとおり	(回答は逐一できるだけ詳細に記 述すること)	別紙のとおり
委員会による 意見の具申又 は勧告の内容	無し		

東北運輸局 入札監視委員会再苦情処理会議 審議概要

開催日及び場所	平成29年3月8日(水)		東北運輸局 4階会議室		
委員	委員長 長谷部 弘	出席	東北大学大学院教授		
	委員 高橋 真	出席	尚絅学院大学 教授		
	委員 瀬口 孝	出席	弁護士		
審議対象期間	平成27年10月1日～平成28年9月30日				
苦情対象工事件数	総件数	0件	〈備考〉		
一般競争		0件			
通常指名競争		0件			
随意契約		0件			
指名停止等措置		0件			
苦情申立概要		申立日	件名	契約方式	内容等
	(1)				
	(2)				
委員からの意見・質問、それに対する回答	(意見・質問は逐一できるだけ詳細に記述すること)		(回答は逐一できるだけ詳細に記述すること)		
	無し				
委員会による意見の具申又は勧告の内容	無し				

意見・質問	回答
<p>一般競争入札案件について 入札において、予定価格を公表しているのか。公表・非公表の案件があるのであれば、判断基準を教えてください。</p>	<p>すべての案件において、予定価格は公表せずに入札を実施している。</p>
<p>入札結果の公表について、2箇所に入札金額が入っているものがあるが、1度目不成立のため2度目になったのか。2回に分けて実施したのか確認したい。</p>	<p>1回目の入札の際に、予定価格を下回っていなかったことから、2回目を実施したもの。</p>
<p>「調査基準価格」について、予定価格との違いは何か。</p>	<p>調査基準価格は、予定価格に対し、安すぎる価格で入札が行われた場合に、調査を行うかどうかの基準額となる。</p>
<p>物品の調達に係る入札結果等の公表について、支局で使用する公用自動車を購入しているが、総合評価点が高い事業者が落札となるのか。また、入札額は、総合評価点の中に加味されているのかどうか。</p>	<p>総合評価点が高い事業者が落札することになる。また、入札額は、総合評価点を算出する際に使用している。</p> <p>※参考 総合評価点＝環境性能に対する得点/入札に対する得点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境性能に対する得点＝標準点（100点）＋加算点（50点満点）×（提案者の燃費地－燃費基準値/燃費目標値－燃費基準値） ・入札に対する得点＝入札額/100万
<p>入札する事業者へは、総合評価点の算出方法は伝えているのか。</p>	<p>参加する事業者へは、総合評価方式である旨及び計算方法は伝えています。</p>
<p>総合評価方式の評価項目は伝達しているが、個々の車種による燃費等の加算点等は明示していない。個々の車種の燃費を基とした加算点等を企業に情報提供することで、企業側はもっと努力（例えば、価格は高いが、燃費のいい車種の提供を検討）をするようになるのではないか。詳細を伝えていないため、よりいい車を取得する機会を逃していると思う。</p>	<p>仕様書の記載については、今後検討します。</p>
<p>自動車を購入する際の総合評価方式は、自動車の性能だけを評価対象としているのか。他の委員会においては、地域性や地域への貢献度、地元人や障害者の雇用などの項目もあり、細かく評価をし点数を付けているケースがあった。自動車であれば、車両本体は高くても、メンテナンスの費用が組み込まれているなど、自動車を購入する際の評価項目として、何が適正なのか検討する余地があるのではないかと。</p>	<p>国の自動車購入については、総合評価方式を選択し、燃費の基準値を使用し、評価する方法しかない状況であり、他の項目を追加することが厳しい状況です。</p>
<p>評価の基準があることは分かるが、東北の委員会において、評価項目についての意見があったということを中央に対し具申することが大事であり、意見の積み上げ方式による制度の改変が、我々の社会をよくするものと思う。</p>	<p>意見を踏まえ、本省へ情報提供いたします。</p>
<p>各担当者の自由裁量により業者が決まるようなものは入札制度の根幹に関わる点であることから、入札に関する情報提供方法を再検討し、制度的に整理していくことが望ましいと思う。また、しっかりとした入札制度にしないと、国民から批判が出ることになる。委員からの意見を十分に受け止め、入札業務を実施していただきたいと思う。</p>	

意見・質問	回答
<p>企画競争案件について 観光に関し、東北に海外から客を招く取り組みは、宮城県や仙台市、岩手県などでも実施していると思う。企画を実施するにあたり、東北運輸局だけでなく、他県や市などと連携し企画するという考えはあるか。同様の企画であれば、連携した方が安価であり、効果的と思われる。</p>	<p>国と地方自治体が予算を折半で負担している地方連携事業では国が定めるプロモーション方針に基づいて、地域の実状に応じて事業を実施しており、自治体の職員とは、情報を共有し、事業が重複しないよう確認している。</p>
<p>企画競争の実施状況について、大手事業者の受注件数が減少し、新規参入者が増加しているが、大手事業者が減少した理由をどのように分析されているか。</p>	<p>大手事業者は、ノウハウや海外支社を持っていることから受注していたが、他の事業者においても、ノウハウ等能力が着実に育ってきているため、受注が増加傾向にあると考えている。</p>
<p>企画書審査集計表の点数は、どのような組織で、どのように点数をつけて、どのくらいの時間をかけて実施しているのか、客観性を確保しているのか。</p>	<p>審査員については、観光部長、観光部3課長、総務部長、会計課長が担当している。評価に関しては、「業務内容の理解度」「業務遂行の確実性」「提案内容の独創性」「提案内容の具体性」について審査している。</p>
<p>点数のつけ方はどのようになっているのか。部長クラスが何点、課長クラスが何点と割り振られているものか。</p>	<p>各審査員が、10点満点で審査している。</p>
<p>「理解度」に点数をつける際に、各審査員が「理解度がある」と判断したら、例えば「6」に統一するような基準を設けないと、当該点数には全く客観性がない。客観性を持った主観を担保しておかないと資料としての説得性がない。担当が変わるたびに全部点数が逆転することもありえる。</p>	
<p>点数をつける際、主観性を完全に排除することはできないが、一定の人に納得させることができるような制度的な枠組みをつくり、公にすべきと思う。</p>	
<p>採点方法は、人により違いがあることから難しい問題と思う。しかし、対外的に、確実に審査を実施し判断した内容であることを、可視化できる工夫を検討して欲しい。他部署や、他機関から情報をもらいながら進めていけばより良くなっていくのではないか。</p>	<p>指摘を踏まえ、採点方法については、今後検討します。</p>
<p>最近、フィギュアスケートの評価がかなり細分化され、客観性が担保されるようになったと聞いている。ジャンプ競技の飛型点は、一番高い数字と低い数字を排除し、真ん中の数字だけを採用し実施している。他分野の採点方法なども参考にしつつ工夫しながら検討することも大事と思う。</p>	
<p>採点方法に関し、ある会の補助金なども、著しく判断が分かれるところは外したり、別の機会に再度最初から審査をしていただくなどを実施しているところがある。少しずつ導入し、客観性が担保できるようにすることがいいと思う。</p>	